

旅立ちにエールを



渥美貴和さん

Atsumi Kiwa
(梅高)

世の中にはさまざまな価値観がある
自分の考えに責任を持って行動したい

分の視野を広げたり、別の視点から物事を考えたりできる力になつてくる」と言つてくれました。それを聞いてわたしは、これから学ぶことは無駄ではないと思えるようになりました。

その話を聞いてからは、積極的に物事にチャレンジできるようになります。それにより自分が大きく成長できたらと、胸を張つて言うことができます。

として自覚を持たなければならぬという思いも生まれました。そして、机上では学ぶことのできない多くの経験をしました。いろいろな人と接する機会も生まれました。他の大学生はもちろん、企業の人や外国人と一緒に活動する機会もあります。中には苦手と感じる人もいますが、世の中にはさまざまな価値観を持つ人がいて、それぞれが自分の考えに責任を持つて行動していることが分かりました。

新成人たちの決意と



風間 真莉奈 さん

Kazama Marina
(沢間)

「良い先生とは何か？」を追求し続け、
2年後、教壇に立ってみたいと思う

今 年度、静岡市内の小学校に
教育実習に行きました。実習生という立場とはいえ、教師として子どもたちに接しなければなりません。この実習で教わる立場から、教える立場になつていく自分を実感しました。

この実習で一番印象に残つているのは、やはり授業です。わたくしが配属された2年生のクラスはとても元気で、意見をはつきり発言できる子たちばかりでした。が、人の話を聞くのが苦手な子たちでもありました。

そこでわたしは、帰りの会のときに「聞き上手になることの大切さ」を子どもたちに話して聞かせました。

次の日の授業では、みんな前

いよいよ大学生活も後半に入ってきます。大学での勉強は、わたしにとつて簡単なものではありません。くじけそうになるときも多々ありますが、周りの友達や先生、そして家族に支えられながら、これからも目標に向かって頑張っていこうと思います。2年後、大学を卒業し「良い先生とは何か」に対する自分なりの答えを見つけ、教壇に立ちたいと思っています。

高校を卒業し 大学生活を始めてから2年が経とうとしています。わたしは今、大学で教師になるための勉強をしていました。教師を目指そうと決めたきっかけ。それは、ある一つの疑問からでした。それは「良い教師とは何か」という疑問です。わたしは今まで、小中高とさまざまな先生に出会ってきました。その中でも、自分を大きく成長させてくれたのは、厳しくて苦手な先生だったように思い

日にわたしか話したことを覚えていてくれて、担任の先生が驚くほど、しつかりとわたしの話を耳を傾けてくれました。

この授業で子どもたちの変化を感じ取ることができ、とても感動を覚えました。そして、必ず教師になろうと決意を新たにしました。

学外での活動にも多く参加しています。多文化共生シンポジウムに参加したり、浜松国際交流協会と企業がタイアップした日本語教室で週に1回、外国人労働者に日本語を教えました。これらの活動に参加すること

これらは経験から自分の考え方をはつきりと主張し、それに責任を持つことの必要性を知りました。これからは、もつと視野を広げていきたいです。

そのために、今のうちからできることをやろうと考えています。

長期休暇中の短期留学や資格取得など、やりたいことはたくさんあります。そのために1日1日の生活を送ることができることは、とても幸せなことです。

あと2年の大学生活で、自分がどの道に進んでいきたいのかをじっくり考えたいです。

今まで支えてくれた親や周りの皆さんに感謝しつつ、日本・世界全体に目を向けられる大人になりたいと思います。